

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>1 2019ラグビーW杯に向けた取組について</p> <p>2019ラグビーW杯の国内12の開催地の一つとして、釜石市が決定しているところです。</p> <p>全国各地で2019ラグビーW杯の開催を「地域活性化に取り組む好機」と捉え、キャンプ地の招致に向けた取組が活発化しており、県内においても当市をはじめ、複数の自治体がキャンプ地の招致に動いています。</p> <p>2019ラグビーW杯は、希望郷いわて国体・いわて大会と同様に震災復興の象徴として被災地の人々に大きな力を与えるとともに、世界中から寄せられた支援に対し感謝の気持ちを表す絶好の機会となります。</p> <p>当市としましては、いわて国体開催後においても県民一体となって2019ラグビーW杯の開催気運を盛り上げるため、岩手県及び県内自治体と連携しながらキャンプ地を招致し、県内観光と連携したスポーツツーリズムに取り組み、地域経済の活性化につなげたいと考えています。</p> <p>県内広域の経済効果も踏まえ、キャンプ地の招致活動に当たっては、平成29年4月に設立された「ラグビーワールドカップ2019釜石開催実行委員会」及び今後設立が予定される「いわてスポーツコミッション」等の枠組みを活かした県のフォローアップとともに、公認キャンプ候補地に選定された際は、組織委員会から求められる基準を満たすために必要な自治体の施設整備等に対し、財政支援などの対策を講じるよう要望します。</p> <p>1 2019ラグビーW杯に向けた取組について</p>	<p>ラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプ地については、大会の釜石開催と連携した国内外観戦客等の来県による交流人口の拡大や地域経済の活性化が期待されることであり、県としては、「ラグビーワールドカップ2019釜石開催実行委員会」及び「いわてスポーツコミッション」等の枠組みを活かしながら、引き続き、候補地自治体への情報提供や実地視察への立会い等、公認チームキャンプ地の選定に向けた取組をサポートするとともに、公認チームキャンプ候補地におけるトレーニング施設の確保や環境整備等に対する財源確保については、特別交付税や有利な起債の活用について助言するなど、財政負担の軽減が図られるよう支援していきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>B</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>2 北上川の内水排水ポンプの増強及び堤防の整備について</p> <p>(1) 大曲排水機場のポンプ機能の増強</p> <p>北上川右岸にある大曲排水機場は、平成19年9月の洪水時にポンプをフル稼働したにもかかわらず、市道とJR東北本線との立体交差部で冠水の恐れが生じたことから、幹線道路の通行止めの措置をとらざるを得なくなり、大きな混乱を来しましたが、近年の気象状況に鑑みれば、今後、平成19年以上の洪水が危惧されることから当該地区の内水対策は焦眉の問題となっています。</p> <p>都市機能の保全と災害緊急時の安全な交通路を確保するため、ポンプ機能の増強について県からも国へ働きかけるよう要望します。</p> <p>(1) 大曲排水機場のポンプ機能の増強</p>	<p>大曲排水機場は、国において平成14年度までに完成しています。</p> <p>しかし、排水機場の設置後、背後地の市街地化が進んでいることや、昨今、局地的に短時間で降る大雨が多発していることなどから、今後、水防情報の速やかな共有に努めるなど、減災への取組を強化するとともに、排水ポンプ車の派遣等による機能の増強について国土交通省へ要望を行っていきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B</p>
<p>2 北上川の内水排水ポンプの増強及び堤防の整備について</p> <p>(2) 相去町下谷木地区の堤防等整備</p> <p>北上川右岸の相去町下谷木地区は、平成19年9月の洪水で北上川の流水が大関沢川との合流地点から逆流したことにより、同地区の1団地が孤立し、3世帯が自治公民館に避難する事態が発生しており、この地区では、浸水被害防止対策が緊急の課題となっています。</p> <p>浸水被害対策として、北上川と大関沢川の合流点付近までの堤防の延伸整備と排水機場等の整備について県からも国へ働きかけるよう要望します。</p> <p>(2) 相去町下谷木地区の堤防等整備</p>	<p>無堤防区間が多い北上川中流部（概ね紫波町～奥州市の区間）においては、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水に伴い、5年間に2度も甚大な浸水被害を受けています。</p> <p>国では、北上川中流部緊急治水対策事業として、まずは住家への浸水被害の軽減を図ることを優先して進めることとしており、当該地区については他地区の進捗を見ながら対応すると聞いています。</p> <p>北上川の治水対策は、県としても重要な課題であり、国に対し整備促進の要望を行っていきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>2 北上川の内水排水ポンプの増強及び堤防の整備について</p> <p>(3) 小鳥崎地区の堤防整備</p> <p>北上川右岸の小鳥崎地区は、平成19年9月の洪水で北上川の流水が地区内に流入し、住家2戸、非住家3戸が床下浸水する事態が発生しています。</p> <p>また、二子地区及び黒岩地区の堤防整備が完了した際には、洪水時、両地区の下流側で堤防が未整備である小鳥崎地区及び里分地区への浸水が大変懸念されており、この地区の浸水被害防止対策が緊急の課題となっています。</p> <p>浸水被害対策として、二子地区以南珊瑚橋北側までの堤防の整備延伸について、県からも国へ働きかけるよう要望します。</p> <p>(3) 小鳥崎地区の堤防整備</p>	<p>無堤防区間が多い北上川中流部（概ね紫波町～奥州市の区間）においては、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水に伴い、5年間に2度も甚大な浸水被害を受けています。</p> <p>国では、北上川中流部緊急治水対策事業として、まずは住家への浸水被害の軽減を図ることを優先して進めることとしており、他地区の進捗を見ながら対応すると聞いています。</p> <p>北上川の治水対策は、県としても重要な課題であり、国に対し整備促進の要望を行っていきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B</p>
<p>3 北上市内の一般国道4号の4車線拡幅と整備について</p> <p>(1) 北上工業団地入口以北の4車線化</p> <p>北上工業団地入口から花巻市境までの区間につきましては、奥州市や金ケ崎町の工業団地を含め各工業団地から北へ向かう幹線物流ルートであることや、広域医療の基幹病院として救急医療の中核となっている県立中部病院への花巻市方面からの救急車両のメインルートとなっていますが、いまだに2車線区間であることから渋滞が著しい区間となっています。</p> <p>4車線化の事業促進のため、北上市・花巻市・金ケ崎・奥州市の3市1町により国道4号岩手県南地域整備促進期成同盟会を設立し、国への要望活動を行っており、国からも都市計画決定を示唆されていますので、早期の都市計画決定をお願いします。</p> <p>(1) 北上工業団地入口以北の4車線化</p>	<p>県では、内陸部における物流の円滑化や地域間の交流・連携を促進し、快適・安全な生活の確保を図る道路として、一般国道4号の整備の重要性を認識しており、6月14日に行った平成30年度政府予算提言・要望において、一般国道4号の整備促進について国に要望しています。</p> <p>当該箇所の都市計画決定については、道路管理者である国からの協議申出に応じて調整していきたいと考えています。</p> <p>引き続き、一般国道4号における2車線区間の4車線化の早期事業化について国へ強く訴えていきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>3 北上市内の一般国道4号の4車線拡幅と整備について</p> <p>(2) 鬼柳地区の立体横断施設等整備</p> <p>4車線化された区間のうち、鬼柳地区の一般県道北上和賀線との交差点は、近隣の小学校の通学路となっており、交通量の多い国道の横断歩道を利用している状況となっています。</p> <p>交通量が多い状況で、重大事故の発生が懸念されることから、交差点または交差点付近の安全が確保できる場所への立体横断施設等の早急な設置に向けて特段の配慮をお願いします。</p> <p>(2) 鬼柳地区の立体横断施設等整備</p>	<p>御要望の鬼柳地区への立体横断施設等の設置については、現地状況等から現状では整備が難しいと国から聞いています。</p> <p>なお、県は渋滞対策として交差点西側の一般県道北上和賀線に右折レーンの設置を予定しており、平成29年度から工事着手しており、引き続き事業を進めます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>
<p>4 一般国道107号の整備促進について</p> <p>一般国道107号は、太平洋と日本海を結ぶ、物流、観光を支える重要な役割を担う道路であり、平成9年4月には一般国道4号から和賀町長沼までのバイパス区間が供用開始され、藤根地区の家屋連担区間の交通事故や騒音、危険箇所の解消が図られていますが、和賀町堅川目、横川目地区の家屋連担区間においては歩行者等が危険な状態です。</p> <p>バイパス事業の延伸により、交通安全対策を講じるよう要望します。</p> <p>4 一般国道107号の整備促進について</p>	<p>一般国道107号の御要望区間におけるバイパス事業の横川目方面への延伸については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきませんが、早期の整備は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>5 一般国道456号の整備促進とルート変更について</p> <p>一般国道456号は、盛岡市を起点に北上川の東側を宮城県登米市まで縦断しており、沿線市町村の産業、観光等の重要な機能を担い、一般国道4号を補完する幹線道路ですが、幅員が狭く歩道も一部を除き設置されていない状況となっています。</p> <p>口内町新町、荒町地区の拡幅改良及び歩道設置、もしくは、同町の久田から松坂を經由して青木田まで通じるバイパスの建設を要望します。</p> <p>5 一般国道456号の整備促進とルート変更について</p>	<p>道路整備については、県内各地から多くの要望があり、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めている状況です。</p> <p>御要望の改良整備や歩道整備については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p> <p>また、久田から青木田地区のバイパス化については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>
<p>6 主要地方道の整備促進について</p> <p>(1) 花巻北上線</p> <p>主要地方道花巻北上線は、北上川の川東地区を南北に縦断する広域的な幹線道路ですが、当市の立花地区から黒岩地区の区間には歩道のない箇所があり、北上川が増水した際には当該道路と隣接する自転車道が水没して利用できないこともあるなど、自転車、歩行者の通行に危険な状況です。</p> <p>車道の拡幅と歩道の設置を要望します。</p> <p>(1) 花巻北上線</p>	<p>主要地方道花巻北上線の立花地区から黒岩地区の道路拡幅整備及び歩道設置については、要望箇所の地形が厳しい状況から、早期の整備は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>6 主要地方道の整備促進について (2) 花巻平泉線</p> <p>主要地方道花巻平泉線は、当市と花巻市、金ケ崎町等を結ぶ、温泉観光等の重要な幹線道路であります。一部に拡幅工事の未着手区間があるとともに、夏油川に架かる橋が狭く危険な状況です。</p> <p>和賀町山口地内の狭窄箇所を早期拡幅改良と、和賀町岩崎地内で冬期間の通行に危険が大きい新田橋の架け替えを含めた道路改良を要望します。</p> <p>(2) 花巻平泉線</p>	<p>主要地方道花巻平泉線の山口地区の拡幅改良については、かつて道路整備を進めていたところですが、用地交渉の難航区間があり整備を中断した経緯があります。現在、関係者との計画協議を継続しています。</p> <p>新田橋の架け替えについては、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>
<p>6 主要地方道の整備促進について (3) 北上東和線</p> <p>主要地方道北上東和線は、花巻市東和地区の中心部と北上市を結ぶ道路であり、開通した平成大橋を経由して工業団地、国道4号、県立中部病院等に至る道路ですが、当該路線のうち、花巻市境の臥牛地内から更木地内までの区間は、幅員が狭く、高低差の著しい状況が連続する区間であり、特にも冬期間の車両通行に危険な状況です。</p> <p>道路利用者の安全確保のため、拡幅整備を要望します。</p> <p>(3) 北上東和線</p>	<p>主要地方道北上東和線の臥牛から更木までの拡幅整備については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の整備は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>7 一般県道の整備促進について</p> <p>(1) 夏油温泉江釣子線</p> <p>一般県道は、国道等の基幹道路と市内各地域を広域的に結び、主要施設へのアクセス、国道の補完といった重要な役割を担い、通勤通学等日常の市民生活に欠かせない重要路線ですが、近年、交通量が増加し、施設の改良整備が緊急の課題となっています。</p> <p>つきましては、交通安全の確保と道路機能の向上を図るため、次の事項について要望します。</p> <p>夏油温泉江釣子線は、一般国道107号と市の主要な観光地である夏油高原地域を結ぶ重要な路線ですが、江釣子十文字交差点から南側の住宅連担区間及び和賀川右岸の広表橋から堤防までは幅員が狭く、歩道もない状況となっています。</p> <p>さらに、上江釣子19地割地内（セブンイレブン五条丸東側）において、路側帯の側溝蓋が途切れている箇所があり、北側を歩行する児童や近隣の方が、一旦南側の歩道へ横断してからまた戻るなど危険な状況にあります。</p> <p>この区間の歩行者及び自転車の安全確保のため、交差点改良と交通安全施設の整備並びに側溝を入れ、蓋掛けをする等の改修を要望します。</p> <p>(1) 夏油温泉江釣子線</p>	<p>歩道設置等については、各地域から多くの要望があることから、必要性や緊急性の高い箇所から整備を進めています。</p> <p>御要望の箇所については、今後の交通量の推移、地域の沿道状況や県全体の進捗等を踏まえ検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。（C）</p> <p>上江釣子19地割地内の側溝蓋が途切れている区間の御要望は、関係する管理者等に伝えました。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>7 一般県道の整備促進について (2) 相去飯豊線</p> <p>一般県道は、国道等の基幹道路と市内各地域を広域的に結び、主要施設へのアクセス、国道の補完といった重要な役割を担い、通勤通学等日常の市民生活に欠かせない重要路線ですが、近年、交通量が増加し、施設の改良整備が緊急の課題となっています。</p> <p>つきましては、交通安全の確保と道路機能の向上を図るため、次の事項について要望します。</p> <p>相去飯豊線は、当市の中心市街地を縦断しており、通勤通学や買物等市民の日常生活には欠かすことのできない重要路線であります。中心商店街通りの一部区間には歩道が設置されておらず、歩行者の安全確保に不安をきたしています。</p> <p>誰もが歩いて暮らせるまちづくりのため、中心市街地の歩行空間の安全確保が求められており、県道北上停車場線から市道大天満大曲線交差点までの両側区間に歩道の整備を要望します。</p> <p>(2) 相去飯豊線</p>	<p>歩道設置等については、各地域から多くの要望があることから、必要性や緊急性の高い箇所から整備を進めています。</p> <p>御要望の箇所については、今後の交通量の推移、地域の沿道状況や県全体の進捗等を踏まえ検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>



北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>7 一般県道の整備促進について (3) 後藤野野中線</p> <p>一般県道は、国道等の基幹道路と市内各地域を広域的に結び、主要施設へのアクセス、国道の補完といった重要な役割を担い、通勤通学等日常の市民生活に欠かせない重要路線ですが、近年、交通量が増加し、施設の改良整備が緊急の課題となっています。</p> <p>つきましては、交通安全の確保と道路機能の向上を図るため、次の事項について要望します。</p> <p>後藤野野中線のうち、一般国道107号から県道花巻和賀線交差点までの区間は、幅員が狭く歩道もない状況となっていますが、近年、後藤野工業団地への通勤車両や大型車両の通行が増加していることに加え、工業団地への企業立地や岩手中部広域行政組合によるごみ焼却施設の平成27年10月からの稼働により、大型車両等の通行が増加しています。</p> <p>事業着手されている国道107号交差点から起点側300mに引き続いて、県道花巻和賀線との交差点までの歩道設置と道路の拡幅整備を要望します。</p> <p>(3) 後藤野野中線</p>	<p>歩道設置及び道路拡幅整備については、各地域から多くの要望があることから、必要性や緊急性の高い箇所から整備を進めています。</p> <p>御要望の区間への歩道設置及び拡幅整備については、今後の交通量の推移、地域の沿道状況や県全体の進捗等を踏まえ検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p> <p>なお、一般国道107号交差点から起点側の約300m区間については、平成29年度に整備を完了しました。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>8 市道の県道認定について</p> <p>(1) 市道飯豊赤坂線 (L=12,310m)</p> <p>当市の重要幹線市道及び隣接市町との広域幹線道路として重要な機能を有する次の道路について、県道に昇格されるよう要望します。</p> <p>市道飯豊赤坂線は、一般国道4号及び県道相去飯豊線のバイパス的な役割を担い、これら路線の交通緩和を図るうえで極めて重要な路線となっています。</p> <p>全線開通した後は、東北縦貫自動車道北上江釣子インターチェンジ及び北上金ヶ崎インターチェンジを最短で直結し、また、北上流通基地をはじめ市内の工業団地等への物資の搬入に大きな役割を果たすとともに、現在、本市が事業を実施中の飯豊北線を含めて花巻市まで至ることになり、沿線にある県立中部病院や北上総合運動公園へのアクセス道路にもなる道路となっています。</p> <p>国道4号を補完し、花巻市と金ヶ崎町を結ぶ広域的な道路として、県道として認定を要望します。</p> <p>(1) 市道飯豊赤坂線 (L=12,310m)</p>	<p>県道昇格については、市町村間を結ぶ道路など道路法に規定する認定条件を具備する必要があるとあり、これらの要件を満たした路線について、地域の道路網における市町村道との機能分担や、整備・管理する必要性等を総合的に判断の上、上行うこととしており、現在のところ、御要望の区間の県道昇格は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>8 市道の県道認定について</p> <p>(2) (仮称) 上浮田村崎野線 (L=9, 106m)</p> <p>当市の重要幹線市道及び隣接市町との広域幹線道路として重要な機能を有する次の道路について、県道に昇格されるよう要望します。</p> <p>(仮称) 上浮田村崎野線は、当市と花巻市東和町を結ぶ幹線道路であり、一般国道4号から一般国道456号に至る通勤通学、産業・観光道路としての重要な役割を担っています。</p> <p>平成21年に開院した県立中部病院へのアクセス道路として極めて重要な路線であることから、早急に県道認定を行うよう要望します。</p> <p>(2) (仮称) 上浮田村崎野線 (L=9, 106m)</p>	<p>県道昇格については、市町村間を結ぶ道路など道路法に規定する認定条件を具備する必要があり、これらの要件を満たした路線について、地域の道路網における市町村道との機能分担や、整備・管理する必要性等を総合的に判断の上行うこととしており、現在のところ、御要望の区間の県道昇格は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>8 市道の県道認定について</p> <p>(3) 川原町南田線（主要地方道北上東和線の交換）</p> <p>当市の重要幹線市道及び隣接市町との広域幹線道路として重要な機能を有する次の道路について、県道に昇格されるよう要望します。</p> <p>川原町南田線は、平成大橋が完成し、地域周辺部との交流に大きく寄与しているところであり、特にも、緊急車両の通行にあっては、中部病院への所要時間は、平成大橋完成前に比べ5分以上短縮されるなど、大きな効果を発揮しています。</p> <p>また、本路線と主要地方道北上東和線との交換に向けた協議を行っているところですが、当市では、交換に向けて平成32年度の完成を目標に川原町南田線の歩道整備を進めており、主要地方道北上東和線については、地域から早期の歩道整備について要望があります。</p> <p>主要地方道北上東和線については、二子小学校北側から鳥喰公民館までの歩道の整備を行った上で路線交換を行うよう要望します。</p> <p>(3) 川原町南田線（主要地方道北上東和線の交換）</p>	<p>主要地方道北上東和線と川原町南田線の路線交換については、貴市と協議のうえ、側溝の修繕などの必要な補修工事を実施してきたところです。</p> <p>歩道設置等については、各地域から多くの要望があることから、必要性や緊急性の高い箇所から整備を進めています。</p> <p>御要望の箇所については、今後の交通量の推移、地域の沿道状況や県全体の進捗等を踏まえ検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>9 (仮称) 新国見橋の整備について            主要地方道一関北上線は北上川左岸に、一般県道相去飯豊線は右岸に位置し、それぞれ当市の主要な道路であります。</p> <p>主要地方道一関北上線及び一般県道相去飯豊線を利用して、物流貨物車はもとより、奥州市江刺区から北上南部工業団地などへ、または当市から江刺中核工業団地へ通勤する自家用車が多数通行しています。</p> <p>一方、市内の南側で、主要地方道一関北上線と一般県道相去飯豊線を結ぶ橋は、当市が管理する国見橋のみです。</p> <p>主要地方道一関北上線及び一般県道相去飯豊線を結ぶ(仮称) 新国見橋の整備を要望します。</p> <p>9 (仮称) 新国見橋の整備について</p>	<p>新たな橋の整備については、県として早期の事業化は困難ですが、国見橋の管理者でもある貴市と、北上川を渡る道路ネットワークのあり方について検討していきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>10 北上コンピュータ・アカデミーの今後の運営について</p> <p>全国の情報処理技能者養成施設及び地域職業訓練センターの廃止に伴い譲渡された北上コンピュータ・アカデミーは、激変緩和措置として、平成23年度以降3カ年、施設の修繕料と機器リース料が全額国費による対応がなされ、その後、県、市及び職業訓練法人北上情報処理学園が連携して、国に対し支援継続の要望を行い、平成29年度までは、一定の条件のもとリース料に対し国による全額補助が継続されております。</p> <p>同校の直近3年間（平成27～29年度）の入学生の地区別状況をみると、9割以上が県内高校出身者であり、その内訳は北上地区が18%、花巻・盛岡・県北地区が38%、胆江・一関地区が25%、その他沿岸、気仙地区からと、県内各地から生徒を受け入れています。また、直近3年間（平成26～28年度）の就職状況は県内が78%、県外が22%であり、卒業生の多くが県内で活躍しています。</p> <p>また、入学生の確保については、昨今の好調な雇用情勢や少子化の影響もあって苦戦している状況もあり、県内における高度情報技術者の育成の観点から、次の事項について要望します。</p> <p>同校が北上市内のみならず、広く県内の人材育成に寄与していることから、県立の高等教育機関が皆無である当地域の実情を考慮いただき、今後の運営について県の関与を深めていただくとともに、県立の高等教育機関としての位置づけなどを含めて、新たな在り方についての調査研究への県の参画をお願いします。</p> <p>10 北上コンピュータ・アカデミーの今後の運営について</p>	<p>北上コンピュータ・アカデミーは、開校以来多くの人材を輩出し、地域の情報化と経済の発展に寄与しており、継続して運営できるよう財源の確保を図ることが重要と考えています。</p> <p>そのため、平成29年度のコンピュータリース料について、北上市と連携して国に働き掛け、国の職業能力開発校設備整備費等補助金（旧情報処理技能者養成施設設備整備事業費）により支援措置が継続されたところです。</p> <p>また、平成29年6月2日には、北上市と連携し、厚生労働省に対し、「平成30年度以降の職業能力開発校設備整備費等補助金による支援（国による全額支援）の継続」について要望しています。</p> <p>これに対し、平成30年度政府予算案において、平成29年度を上回る予算が盛り込まれ、閣議決定されたところです。</p> <p>今後も、北上市との緊密な連携のもと、北上コンピュータ・アカデミーでの訓練がしっかり行えるよう、引き続き、「国の全額負担による財政支援の継続」について取り組んでいきます。</p> <p>また、人口減少など社会経済情勢の変化等を踏まえながら、今後の北上コンピュータ・アカデミーの在り方についての調査研究に協力していきたいと考えています。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>B</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>11 北上市産業支援センターとの連携強化について</p> <p>(1) 岩手県よろず支援拠点県南サテライトの設置</p> <p>当市では、産業間連携や起業等による新事業を創出し、地域の持続的な発展と魅力ある地域産業の振興を図るため、北上市基盤技術支援センターの機能を拡充させた北上市産業支援センターを今年度開設しました。</p> <p>県南地域には製造業が集積しており、北上市産業支援センターをより効果的に運営するため、岩手県よろず支援拠点等の支援機関との強固な連携体制を構築する必要があると考えます。</p> <p>県南地域をターゲットとした支援拠点サテライトを北上市産業支援センター内に設置するなど、相談支援体制の強化を要望します。</p> <p>(1) 岩手県よろず支援拠点県南サテライトの設置</p>	<p>岩手県よろず支援拠点は、平成26年6月に「いわて産業振興センター」内に設置され、商工団体や金融機関と連携しながら、開設以来18,000件以上の相談に対応しています。</p> <p>また、盛岡地区以外の事業者も気軽に相談できるよう、県内各地で合同相談会を開催しています。特に北上地区においては、北上市産業支援センターや北上信用金庫と連携し、平成29年度はほぼ毎週のように開催しており、事実上のサテライト展開となっているところです。</p> <p>北上市産業支援センターでは、事業者からよろず支援拠点の利用についての照会があった場合には、合同相談会を御案内いただくなど、同拠点と連携した対応を行っています。</p> <p>県としては、よろず支援拠点の相談業務を通じて、事業者の売上拡大や経営改善を支援していきたいと考えており、そのため、同拠点と商工団体、金融機関や、関係支援機関が連携を深めていけるよう、今後の連携体制などについて、いわて産業振興センターとともに引き続き検討していきます。</p> <p>また、県では、平成30年度から自動車・半導体関連産業を中心としたものづくり産業の更なる集積と地元企業への就業を促進するため、北上市内に「ものづくり自動車産業振興室 産業集積推進担当」を駐在させ、さらに北上市産業支援センターとの連携強化に努めていくこととしています。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>A</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>11 北上市産業支援センターとの連携強化について</p> <p>(2) 県南地域での産業支援に関するセミナーの開催</p> <p>当市では、産業間連携や起業等による新事業を創出し、地域の持続的な発展と魅力ある地域産業の振興を図るため、北上市基盤技術支援センターの機能を拡充させた北上市産業支援センターを今年度開設しました。</p> <p>事業者数が多い県南地域ですが、産業支援に関する各種セミナー開催地は県央地域に偏っています。</p> <p>北上市産業支援センターを活用した県南地域での各種セミナー開催を要望します。</p> <p>(2) 県南地域での産業支援に関するセミナーの開催</p>	<p>県南地域においては、これまでも県南広域振興局を中心に、ものづくり人材育成講座や航空機、IoT分野等に関する各種セミナーを開催しているところです。</p> <p>今後も、地域の実情を踏まえ、産業支援機関等と連携しながら、各種セミナーを開催するなど、県内企業の産業競争力の強化を図る取組を進めていきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>A</p>



北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>11 北上市産業支援センターとの連携強化について            (3) 北上市産業支援センター内の自動車分解展示の更新            当市では、産業間連携や起業等による新事業を創出し、地域の持続的な発展と魅力ある地域産業の振興を図るため、北上市基盤技術支援センターの機能を拡充させた北上市産業支援センターを今年度開設しました。</p> <p>現在実施されているプリウスの分解展示は、県南地域の企業はもとより他県からも多数来場があるほか、学生に対する講座が開設されるなど、ものづくりへの意識喚起に繋がってきました。しかし、経年により、一世代前の部品展示のため来訪者は減少しています。</p> <p>地場産業の自動車産業への進出及び講座を受講した学生が高い技能や技術を習得し、地場産業を支える人材となることで企業誘致の増加を図るため、より新しい車両であり、隣接する金ヶ崎町で製造されているC-HRの分解展示の実施を要望します。</p> <p>(3) 北上市産業支援センター内の自動車分解展示の更新</p>	<p>自動車の分解展示は、トヨタ自動車東日本(株)岩手工場(旧 関東自動車工業(株))の協力により実現し、これまで小学生の見学から大学等の講座、ものづくり企業の従業員教育等人材育成に活用されてきたほか、自動車関連企業の取引拡大や「いわてデジタルエンジニア育成センター」と連携し、部品のリバースエンジニアリングによる図面化を行うなど高度化支援等を行い、本県ものづくり産業の発展に貢献してきました。</p> <p>現在、本県自動車関連産業の状況は、トヨタ自動車東日本(株)岩手工場を中心とした小型車の生産拡大と、それに伴う部品メーカー等の集積が加速しており、更には、フランストヨタとの連携によるグローバル化が期待される等、今後も発展が見込まれています。このような中、同社と一体となって、地域が持続的に成長していくためには、新規参入や技術力向上による取引拡大等、地場企業の競争力向上がカギとなります。</p> <p>このことから、自動車の分解展示事業の重要性は、今後、益々高まっていくと考えており、今後のトヨタの東北拠点化の動向を踏まえながら、分解展示事業の充実に努めていきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>B</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>12 北上市内への特別支援学校分教室高等部の新設について</p> <p>平成29年4月、花巻清風支援学校北上みなみ分教室小学部及び中学部を岩手県の特段の配慮により開設いただき、小学部に2名、中学部に3名が入学しました。今年度の入学対象者の半数以上が北上みなみ分教室を就学先として選択したところであり、良好な学習環境や通学の負担の軽減などから、今後、同校への入学者数の増加が見込まれます。</p> <p>一方、昨年度、市内中学校を卒業した特別支援学級在籍者16名のうち、花巻清風支援学校高等部に5名、盛岡峰南支援学校に9名、江南義塾高等学校に1名、西和賀高等学校に1名が就学しており、生徒の障がいの特性に応じた就学先を求めて市外に就学せざるを得ない状況です。また、花巻清風支援学校高等部在籍者の4割が当市から就学しています。</p> <p>北上みなみ分教室中学部が設置され、同校を卒業する生徒が市内で一貫した教育を受けられる環境の整備が望まれるとともに、市内の特別支援学級生徒の進学先として、市内に支援学校高等部の設置が必要であると考えます。</p> <p>花巻清風支援学校北上みなみ分教室小中学部の設置を踏まえて、その近隣に分教室高等部の設置を要望します。</p> <p>12 北上市内への特別支援学校分教室高等部の新設について</p>	<p>特別支援学校の高等部は、将来の自立や就労を見据えた教育を重視しており、一定の集団での様々な学習を通して、一人一人に応じた社会性や働く力を育むことが必要です。</p> <p>そのため、教育課程上、「作業学習」に重点を置いた学習を進めており、花巻清風支援学校の本校舎には平成27年度、新たに作業棟を増築し、将来の自立や就労という目標達成に向けた教育環境を整えています。</p> <p>これらのことから、現段階においては、高等部における学びの場は花巻清風支援学校の本校舎とすることが適切と考えています。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>中部教育事務所</p>	<p>C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>13 北上済生会病院新病院建設に対する支援について</p> <p>(1) 予算確保</p> <p>北上済生会病院は、施設の老朽化が進み、これに加え一部耐震性に難があることから、旧県立北上病院跡地に新病院を建設することとし、平成32年度に開院を目指して準備を進めているところです。当病院は、長年にわたり当市の中核病院として、県立中部病院とともに急性期医療を担うほか、当市にとっては回復期医療を担う唯一の病院であり、市民にとって欠くことのできないものとなっております。</p> <p>また、「地域周産期母子医療センター」がない医療圏の胆江地区の金ヶ崎町や奥州市からも周産期医療の外来や入院患者が来院しており、2つの医療圏にまたがる広域性のある重要な医療機関となっています。</p> <p>当市としては、地域医療を支えるため、この新病院建設を、全面的に支援することとしており、その存在意義や広域性を考えた場合に、県と一体となった支援が必要と考えます。</p> <p>県の医療施設近代化施設整備事業費補助金が交付要綱の基準額どおりに交付できるよう、その財源である厚生労働省の医療提供体制施設整備交付金の十分な予算確保について、国へ働きかけるようお願いします。</p> <p>(1) 予算確保</p>	<p>病院建物の老朽化等による建替等については、医療施設近代化施設整備事業により補助を行っているところですが、近年、国から基準額どおりに交付されない状況であることから、県として国に対して政府予算要望において、基準額どおりに交付するよう働きかけを行っているところです。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>保健福祉環境部</p>	<p>B</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>13 北上済生会病院新病院建設に対する支援について                      (2) 信号機の新設</p> <p>北上済生会病院は、施設の老朽化が進み、これに加え一部耐震性に難があることから、旧県立北上病院跡地に新病院を建設することとし、平成32年度に開院を目指して準備を進めているところです。当病院は、長年にわたり当市の中核病院として、県立中部病院とともに急性期医療を担うほか、当市にとっては回復期医療を担う唯一の病院であり、市民にとって欠くことのできないものとなっております。</p> <p>また、「地域周産期母子医療センター」がない医療圏の胆江地区の金ヶ崎町や奥州市からも周産期医療の外来や入院患者が来院しており、2つの医療圏にまたがる広域性のある重要な医療機関となっています。</p> <p>当市としては、地域医療を支えるため、この新病院建設を、全面的に支援することとしており、その存在意義や広域性を考えた場合に、県と一体となった支援が必要と考えます。</p> <p>新病院開院後、周辺道路における渋滞発生が予想されることから、北上市九年橋三丁目地内、市道上川原常盤台線と市道川原町南田線の丁字路交差点への信号機の新設に向けて特段の配慮をお願いします。</p> <p>(2) 信号機の新設</p>	<p>開院後は、高齢の方の運転や歩行の増加が予想される、また、同院への車での通院による混雑や交通事故の発生など、現在の状況からの変化が予想されます。</p> <p>よって、今後、交通流量の変化や交通事故の発生状況などについて継続して注視することにし、適切な時点で住民の方の意見も参考としながら信号機設置の判断を行うことにします。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>13 北上済生会病院新病院建設に対する支援について</p> <p>(3) 技術的支援</p> <p>北上済生会病院は、施設の老朽化が進み、これに加え一部耐震性に難があることから、旧県立北上病院跡地に新病院を建設することとし、平成32年度に開院を目指して準備を進めているところです。当病院は、長年にわたり当市の中核病院として、県立中部病院とともに急性期医療を担うほか、当市にとっては回復期医療を担う唯一の病院であり、市民にとって欠くことのできないものとなっております。</p> <p>また、「地域周産期母子医療センター」がない医療圏の胆江地区の金ヶ崎町や奥州市からも周産期医療の外来や入院患者が来院しており、2つの医療圏にまたがる広域性のある重要な医療機関となっています。</p> <p>当市としては、地域医療を支えるため、この新病院建設を、全面的に支援することとしており、その存在意義や広域性を考えた場合に、県と一体となった支援が必要と考えます。</p> <p>新病院建設及び周辺環境整備について、都市再生整備計画を策定することとしておりますので、引続き技術的支援等のサポートをお願いします。</p> <p>(3) 技術的支援</p>	<p>県としても、これからの安定・成熟した都市型社会の中では、地域の特性を活かしたまちづくりを進めていくことが求められていると認識しており、都市再生整備計画の策定にあたっては、貴市と連携のうえ関係機関と調整を図りながら支援していきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B</p>